

今年度、まちの未来創造委員会では、市民が自分の住むまちについて真剣に考え、参画する機会を提供することで、市民と協力しながら光り輝く浦安を創造することが必要と考え、市内各種団体と協働しながら様々な運動を進めてまいりました。

4月第一例会『「私たちの選択が未来をつくる！」～うらやす模擬選挙～』では、若年層の低投票率を鑑みるに、学事期における民主主義教育、シチズンシップ教育の充実が必要ではないかと考え、堀江中学校3年生の授業参観の場をお借りして「みらいく」を実施いたしました。「民主主義とは何か？」というテーマのもと、民主主義の本質と価値を講義で伝え、選挙公報をもとにマニフェスト、政治選択について説明を行い、その後模擬投票を実施することで、選挙において投票を行うことの意義や重要性を伝えました。選挙は自分たちの未来を決める重要なものであること、当選した人の意見が絶対的に正しいのではなく、良い方向を目指すためには少数意見を聞くことも大事であることを中学生とその保護者たちに伝えることができました。

そして、8月第一例会『人と地域をつなぐ就業体験「開校式」』から2ヶ月間実施しました就業体験事業では、就業体験生の成長を促すことをメインに事業を推進してまいりました。開校式では、就業体験生に自分のやりたいことが何なのかを考えていただくために「やりがい」「生きがい」をテーマに講義、グループワークを行ないました。就業体験では、事前に目標を立てたうえで仕事に取り組み、終了後は自分の取り組みに対する振り返りを行ないました。閉校式では、就業体験を通じて自己の成長に繋げてもらうため、就業体験生による実行委員会を立ち上げ、企業への感謝のスピーチ、立食パーティーを企画してもらいました。就業体験事業を通じて、目的意識を持って進めることの大切さ、PDCAサイクルでものごとを向上させることの重要性を就業体験生に学んでいただくことができました。自分を育ててくれたまち「浦安」として就業体験生の記憶に残すことで、愛郷心を醸成させていくよう運動を展開することができたと考えております。

また、浦安フェスティバル2015明海大学ブースをはじめとした多くの協働事業を市内各種団体と進めてまいりました。多くの市民、市内各種団体と協働で事業を進めることで、市民一人ひとりが自分の住むまちを考えることや地域住民同士が連携することの重要性、市内各種団体との協働による事業構築の可能性を伝えることが出来たのではと思います。

最後に、今年度多くの事業を円滑に進めることができましたのは、各事業にご協力頂いた各種団体、企業、行政の皆様、事業運営をサポートくださった浦安青年会議所メンバーの皆様のご協力のおかげとっております。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。1年間ありがとうございました。